| 科目名<br>Subject | 日本語総合Ｔ<br>General JapaneseT | | 教員名 | 日本語ﾁｰﾑ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 | 単位 | 1 |
| 必修／選択 | 選必 | 授業形態 | 演習 | 時間 | 30 |
| 実践的教育 | × | | | | |
| 主な学習効果 | 知識・技能 | 思考力・判断力 | 表現力 | 主体的行動力 | ホスピタリティ・<br>コミュニケーション力 |
| | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 科目の概要 | 日常の会話を中心にした円滑なコミュニケーションの取り方について学習する。電話のような見えない相手とのコミュニケーションの取り方、日本人とのお付き合いで家庭を訪問したとき、話をはずませるにはどうしたらいいか。特に自分の国のことを聞かれた時の対処のしかたを学ぶ。さらに緊急時の対処の仕方、特に近隣の人との情報の交換なども学習する。 | | | | |
| 授業の目標 | 日常の会話の中でも最も大切なことができるようになる。電話のような見えない相手とのあやりとり、家庭を訪問したときの話の仕方、緊急時の連絡や近隣との情報のやり取りが実際にできるようになる。 | | | | |
| 時間外学習<br>（予習・復習） | 各授業の最後には次週にすることを伝えます。その準備が宿題になります。場面やそこでどんな言葉が必要か考えたりメモしたり調べたりするのに60分は最低必要です。また、授業のあとでも、勉強したことをもう一度復習して知識だけでなく表現を使えるようにしてください。その学習にも60分は必要です。 | | | | |
| 教科書・教材 | 教科書 | 毎回プリントで授業をします | | | |
| | 教材 | | | | |
| | 使用設備・備品 | パソコンを使って文章化したりパワーポイントなどでも使います | | | |
| | 参考文献 | | | | |
| 評価方法 | 平常点・授業の参画度50%、期末試験の評価50% | | | | |
| | **なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。** | | | | |
| 学生へのフィードバックの方法 | 個別に実地指導を行います。 | | | | |
| | | | | | |
| 履修上の注意 | スマホの使用は禁止 | | | | |
| 本科目履修と関連する資格 | 資格名 | なし | | | |

| 授業計画 | | | |
|---|---|---|---|
| | 授業内容 | 到達目標 | 予習・復習・備考 |
| 第１回 | オリエンテーション<br>電話での問い合わせ（１） | 授業全体の概要が理解できる<br>見えない相手とのコミュニケーションがスムースにできるようになる | 電話での問い合わせの基本を復習しておく（60分）配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第２回 | 電話での問い合わせ（２） | 上手な問い合わせの手順と、整理の仕方ができる | 電話での問い合わせの手順と整理の仕方を復習しておく（60分）配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第３回 | 電話での問い合わせ（３） | グループに分かれ問い合わせのモデルを作り検討することができる | モデルの言い方を覚える（60分）、配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第４回 | 電話での問い合わせ（４） | モデルケースで練習しフリーコールに電話して実際に問い合わせをすることができる | 電話の振り返り（30分）、配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第５回 | 日本人の家を訪問する（１） | どんな相手とどんな会話をするか想定し、スクリプトを作り検討することができる | スクリプトを覚えて使えるようにする（60分）、配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第６回 | 日本人の家を訪問する（２） | 想定会話を練習し、発表することができる | 発表のコメントを受けて修正した想定会話を話せるようにする（60分）、配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第７回 | 地震から身を守る（１） | 大まかなことをテキストで確認し、グループで話し合いができる | テキストで学習した用語や表現を覚えておく（60分）配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第８回 | 地震から身を守る（２） | グループに分かれ、実際に大きな地震に備え起きた場合はどこに避難することができる | 話し合いの際に出てきた用語や表現を覚えておく（60分）、配布プリントの語彙や表現の意味を調べておく（60分） |
| 第９回 | 地震から身を守る（３） | 身の守り方をグループで話し合い、発表できるように準備することができる | 話し合いの際に出てきた用語や表現を覚えておく（60分）発表が上手くできるように練習する（60分） |
| 第１０回 | 地震から身を守る（４） | 聴衆(別科の学生)にパワーポイントを使って発表することができる | 発表振り返りをする（60分）話し合いの際に出てきた用語や表現を覚えておく（60分） |
| 第１１回 | 地震から身を守る（５） | 地震から身を守るの振り返り　ビデオ撮影の映像をみながらよかった点、改善点の話し合いができる | 再度発表の振り返りをする。話し合いの際に出てきた用語や表現を覚えておく（60分） |
| 第１２回 | 自分の国の紹介（１） | 日本人から自分の国についてどんなことを質問されるか考え、その答えの準備ができる | 授業で準備した表現をしっかり覚えておく（60分）話し合いの際に出てきた用語や表現を覚えておく（60分） |
| 第１３回 | 自分の国の紹介（２） | 説明文の作成とグループで必要な情報の補完　説明文の添削とパワーポイントの準備ができる | 授業でできなかった部分を補う（60分）、明日の発表の準備をする（60分） |
| 第１４回 | 自分の国の紹介（３） | 聴衆(別科の学生)にパワーポイントを使って発表することができる | 発表のコメントを受け、振り返る（60分） |
| 第１５回 | 後期の授業の振り返り | 良かった点と改善点の話し合い、評価ができる | 全体を振り返る。 |